

第3回 江見小学校「学校運営協議会」について

期日：令和7年2月28日（金）

場所：江見小学校会議室

出席者：梶谷 純一、花戸祥浩、石井正子、鈴木正彦、根本清弘、高橋 徹

波々伯部邦夫、座間 斉、山口真妃、鈴木義徳

※鴨川市教育委員会 石崎要一郎 長幡みゆき

記録：鈴木義徳

1 授業参観 ※各学年（1～5年）の授業を5分程度参観。

2 学校より説明

（1）児童及び学校の様子

- ・11月中旬～2月下旬までの学校行事の紹介及び児童の活動の様子

（2）後期学校評価アンケートについて

- ・成果としては児童、保護者、職員ともに「朝食を食べる」「交通ルールを守る」ということが共通していた。
- ・課題は児童は「自分で起きる」「読書」「英語」、保護者は「読書」「英語」「家庭学習」、教職員は「読書」「情報モラル指導」など共通していることと捉えが違っていた。

3 議事

（1）情報モラルについて

- ・自分の子どもが小学生からスマホを持っていたが、時間を決めても守らせるのが難しかった。家族と一緒にの部屋でやるというルールは守っている。
- ・小学校で情報モラル教室があり参加したらとても良かった。大人向けの話も聞きたかった。
- ・「ネットのおかげで不登校が解消できた」という作文の発表を聞いた。使い方を丁寧に教えていけばよい。良いコンテンツ、悪いコンテンツなど。
- ・小学校ではノーゲームデー（毎月5のつく日）を来年度はなくしていく予定。自分で判断できる児童を育てたい。
- ・ネットの使い方や危険性を教える機会を増やしていくとよい。
- ・タブレットを使った宿題を出すなど、良い使い方を増やしていくとよい。

（2）学校評価結果や子どもたちの生活について

- ・学校評価で「楽しく生活する」設問では15%の児童が否定的な回答をしている。100%肯定的な回答を目指すのは難しいが、この15%の児童を何とかしたい。
- ・「起こされないと起きられない」のは夜眠れないのではないかと。学校でもスクールバスもあるし、体力を使っていないのではないかと。体を使って遊ぶ経験をたくさんさせたい。
- ・土日に子どもを見ない。スポーツなど親が送迎して通っているのかも。
- ・自分で意思決定ができない子が多いのではないかと。子どもたちに決めさせる機会を与えていく必要がある。
- ・江見小学校の子どもたちは落ち着いている。